

# じぶんの町を良くするしくみ。

## 県共募寄付つき商品第一号 「しまもぐボールペン」販売開始!

パートナー2月号でお知らせした、沿岸地域の被災地支援活動を応援するため、岩手県共同募金会・岩手県立大学・ゼブラ株式会社・株式会社平金商店が共同プロジェクトとして進めてきた、寄付つき商品開発の第一号の「しまもぐボールペン」の販売が、5月28日から始まりました。

5月28日は岩手県立大学で、キックオフイベントが行われ、プロジェクトに参加した各企業・団体によるテープカットで、販売を開始しました。

このプロジェクトを中心に、的に担っている、岩手県立大学しまもぐプロジェクト代表の三谷千夏さん（岩手県立大学4年生）は「東日本大震災から3年が経過し、被災地への関心が薄れてきていると思われる中、学生である私たちに何ができるだろうかということを考えて、その思いをカタチにしたのが今回のプロジェクトです。しまもぐボールペンの購入を通じて、今一度被災地にごろを寄せていただきたいと思います。」と話しました。

ボールペンは1本200円で、当面は岩手県立大学の売店で販売していますが、今後、販路を広げていく予定です。



県立大学で行われた「しまもぐプロジェクト」キックオフイベント

## 「あったかいわてプロジェクト～しあわせ運ぶお買い物～」

### (株)ジョイスが寄付つき商品で販売 県内33店舗で販売

じぶんの町を良くする活動に

赤い羽根共同募金会では企業等から本業にメリットのある寄付つき商品・企画を募集する、赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」を実施しています。

対象商品をお買い上げ頂くと、売上げの一部が赤い羽根共同募金会を通じて「じぶんの町を良くする活動」に寄付されます。

岩手県共同募金会（桑島博会長）は5月30日、株式会社ジョイス（小苺米秀樹社長）と、盛岡市向中野のジョイス盛岡西バイパス店で「あったかいわてプロジェクト～しあわせ運ぶお買い物～」に関する覚書調印式を



覚書を交わした小苺米社長（右）と桑島会長

桑島会長は「地域の福祉課題が山積する中で、地域福祉活動を財源面から支える共同募金の役割はますます重要となります。じぶんの町の福祉を良くするために一層の協力をお願いします」と述べました。

（株）ジョイスの「あったかいわ

行いました。

「あったかいわてプロジェクト」は、「募金百貨店プロジェクト」の岩手版として、対象商品の売上の一部が共同募金会を通じて所在する自治体の福祉活動に使われます。

調印式には企業及び福祉関係者ら約20人が出席しました。

覚書を交わした小苺米社長は「しあわせを運ぶお買い物ができる店として、寄付金つき商品で県内のジョイス全店舗で販売し、岩手の福祉を応援していきます。じぶんの町のジョイス店舗での買い物が、地域の福祉活動に役立つことを嬉しく思っています」と述べました。



寄付つき対象商品



てプロジェクト」参加企画第一弾は、6月1日から7月31日までの2か月間、県内全33店舗で行われています。

対象商品はサントリーフーズ（株）が協力提供する熱中症対策飲料「グリーン・ダカラ（500ml 1.2ℓ）」と「グリーン・ダカラやさしい麦茶（500ml 2ℓ）」の計4商品。1本につき2円が県共同募金会に寄付されます。

サントリーフーズ（株）東北支社の森祐二部長は「（株）ジョイスとコラボでき、じぶんの町を良くする活動に貢献できて大変嬉しく思っています」と話しています。

なお、同プロジェクトへのスパー業界の参加は東北では初めてです。

### （株）薬王堂も県内全店で展開

なお、（株）薬王堂では県内全店で5月1日から6月30日まで「あったかいわてプロジェクト～しあわせ運ぶお買い物～」を展開しました。

対象の「特保 伊右衛門特茶（500ml）」など4商品の売上げの一部は、あなたの町を良くする活動に寄付されます。



赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金会「募金百貨店プロジェクト」（全国都道府県単位の企画として実施）とは、企業等から本業にメリットのある寄付つき商品・企画を募集し、共同募金会・寄付者・多様な企業等が連携して「じぶんの町を良くする」募金の百貨店を目指すプロジェクトです。

寄付者（顧客）に負担はなく、企業は販促と社会貢献につながり、それが地域福祉課題を解決するための財源となります。